

喘息/アレルギーへの影響についての最新情報

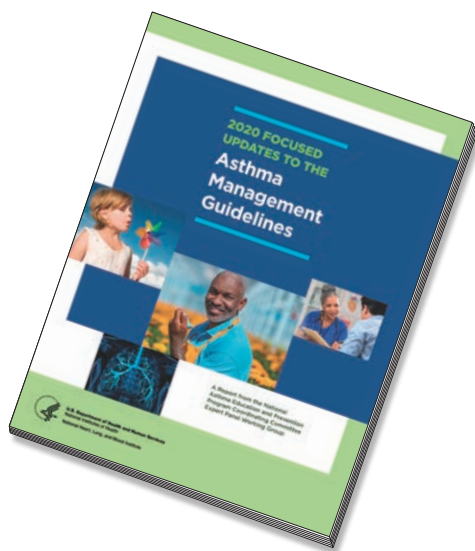
アメリカ 喘息管理ガイドラインが
「カーペットの除去」を撤回！

2020年、アメリカ国立衛生研究所（NIH）の国立心肺血液研究所（NHLBI）による「喘息管理ガイドライン」が更新され、これまで喘息/アレルギーの緩和策として推奨事項であった「カーペットを硬質床材に取り替えるべきだ」という表現がすべて撤回されました。

この結果は、同研究所がカーペットの室内環境改善効果について、アメリカ・カーペット&ラグ協会（CRI）などと取り組んできた共同研究の成果

です。また、CRIは「カーペットは、空气中に浮遊する微粒子を最小限に抑えて、室内空気質を高め、喘息やアレルギー患者への影響を減らす。適切にメンテナンスされれば、カーペットは微粒子のフィルターとして機能する」と述べています。つまり、カーペットは空気中のホコリやアレルギーの舞い上がりを防ぐ観点から、硬質床材よりも優れていると主張しています。

これを踏まえ、日本カーペット工業組合は今後、アレルギー関連学会や医療関係者、マスクミなどに向けて、「カーペットはダニアレルギーとは無関係」であることの理解をさらに求めていきます。



2020年度版「喘息管理ガイドライン」(NIH)